

令和元年度第1回佐渡市地域自立支援協議会 議事録

日時・場所	日時：令和元年8月22日（木）午後1時30分～午後3時30分まで 会場：アミューズメント佐渡 展示室
議 題	1 開 会 2 議 題 （1）第5期障がい福祉計画（平成30年度分）の実績報告について （2）令和元年度自立支援協議会の各専門部会の作業内容について 3 その他 4 閉 会
会議の公開・非公開	公開
参加者	（1）医療機関を代表する者 ・佐渡総合病院 副院長 岡崎 実 ・真野みずほ病院 事務長 市川 一之 （2）障害福祉サービス事業所を代表する者 ・社会福祉法人佐渡市社会福祉協議会 事務局長 細木 寅雄 ・社会福祉法人佐渡福祉会 理事長 弾正 倭一 ・社会福祉法人しあわせ福祉会 常務理事 山田 秀夫 ・社会福祉法人とき福祉会 理事長 末武 正義 ・社会福祉法人佐渡国仲福祉会 理事長 本間 攻 （3）関係行政機関の職員 ・新潟県佐渡地域振興局健康福祉環境部 部長 長澤 正宏 ・佐渡市教育委員会 教育長 渡邊 尚人 （4）市長が必要と認める者 ・佐渡市手をつなぐ育成会 副会長 菊地 美末 ・佐渡地域精神障害者家族連合会 会長 山本紀美代（座長） ・佐渡連合商工会 副会長 村川 一嘉 ・佐渡公共職業安定所 所長 田中 啓一 ・新潟県立佐渡特別支援学校 校長 齋藤 千賀子 ・佐渡市障がい者相談員 代表 信田 恵子 <div style="text-align: right;">計15名</div>

<p>専門部会 事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援センター そらうみ (相談支援部会) 相談支援専門員 本間 奈美 ・こもれび 管理者 田中 香織 ・相談支援事業所 はまなすの家 (知的・身体障がい部会) 相談支援専門員 原田 恭子 ・相談支援事業所さど (精神障がい部会) 相談支援専門員 相田 郁代 相談支援専門員 近藤 良子 ・子ども若者相談センター (療育支援部会) 保育支援専門員 齋藤 朋子 ・障がい者就業・生活支援センターあてび 管理者 石川 和順 (就労支援部会) <p style="text-align: right;">計 7 名</p>
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉課 課長補佐 近藤 信子 障がい福祉係長 堀 資多可 主任 後藤 公彦 主事 牧野 未来 <p style="text-align: right;">計 4 名</p>
<p>資 料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度第 1 回佐渡市地域自立支援協議会 会議次第 ・令和元年度第 1 回佐渡市地域自立支援協議会 参加者名簿 ・資料No.1 佐渡市地域自立支援協議会開催要綱 ・資料No.2 第 5 期佐渡市障がい福祉計画数値目標達成状況評価表 (案) ・資料No.3 令和元年度佐渡市地域自立支援協議会専門部会作業内容提案書 ・資料No.4 佐渡市基幹相談支援センター相談実績表
<p>進行及び 協議内容</p>	<p>1. 開会</p> <p>[事務局進行]</p> <p><配布資料の確認></p> <p><社会福祉課長補佐あいさつ></p> <p><参加者変更者紹介></p> <p><座長の選出></p> <p>「佐渡市地域自立支援協議会開催要綱第 4 条 1 項により、参加者の互選によって、定められるとされている。ここで参加者の意見を頂きたい。」</p> <p>「事務局に一任 (参加者より)」</p> <p>「事務局案として、座長を佐渡地域精神障害者家族連合会の山本会長にお願いしたい。」</p> <p>「異議なし (参加者より)」</p> <p><座長に議事進行依頼></p> <p><座長よりあいさつ></p>

[座長進行][事務局内容説明]

2. 議題

(1) 議題の第5期障がい福祉計画の実績報告について報告を事務局から説明をお願いします。

<事務局より一括説明>

<質疑・意見>

- ・佐渡特別支援学校長 齋藤氏

「生活介護について、当校の児童生徒で、希望すると見込まれる対象が19名くらいになるのではないかとみています。資料にある通り事業所確保に努めていただきたい。」

- ・事務局 後藤

「基準該当サービスの登録も含め事業所に働きかけていきたいと考えていますが、利用者同士の年齢差などもあり、容易ではないと捉えています。」

- ・佐渡総合病院副院長 岡崎氏

「就労移行支援の数値減少について説明いただきたい。」

- ・事務局 後藤

「事務局として、詳細な分析には至っておらず、今後調査してまいります。」

- ・佐渡地域精神障害者家族連合会会長 座長 山本氏

「他に意見が無いようでしたら、本報告を持って、第5期障がい福祉計画、第1期障がい児福祉計画の初年度実績を承認とし、いただいた意見を踏まえ残りの期間の計画を着実に進めていってほしいと思う。」

(2) 議題の令和元年度佐渡市地域自立支援協議会専門部会作業内容提案書について事務局から説明をお願いします。

<事務局より説明>

<質疑・意見>

- ・真野みずほ病院事務長 市川氏

「精神障がい部会の居場所の件について、真野みずほ病院では、家族会支援として宿舎を『しゃべってみんなかっちゃ』に貸与している。今後も、その活用を拡大する形で支援することも考慮しているが、具体的に議論の進捗を伺いたい。」

・精神障がい部会事務局 相田氏

「まだ内容の希望をあげてもらっている段階で、食事をしたり、自宅で行えない洗濯や入浴などが行える居場所が希望されている状況で、今後病院と相談していきたいと考えているとのことである。」

・佐渡地域精神障害者家族連合会会長 座長 山本氏

「私からも補足させていただきます。精神障がい者は、通院日以外の居場所に苦慮している状況。現在真野みずほ病院宿舎を借りて行っている『しゃべってみんかっちゃ』で、家族は会話も弾んでおり、素敵な場所を提供していただいていると喜んでおり、これを障がい者自身にも拡大していければと考えている。居場所は、先ほどの相田氏の話以外に、寝転んですごしたり、友人と会話を楽しんだり、読書したりと思いの過ごし方ができればとも考えているが、病院の許容できる範囲で要望をかなえていただければと考えています。」

・真野みずほ病院事務長 市川氏

「病院としても遊休施設を有効活用することで障害者の役に立ちことは協力していきたいと考えているが、火や風呂の利用となると管理上の課題も出るので、それらの課題をクリアしながら活用いただけるように前向きな検討をしたいので遠慮なく相談いただきたい。まずお互いに無理のない範囲で進めるのがよいのではないかと考えている。」

・佐渡福社会理事長 弾正氏

「障害者芸術文化祭の佐渡会場について相談支援部会で検討しているようだが内容について伺いたい。」

・事務局 堀係長

「障害者芸術文化祭の佐渡会場については、県の0光年芸術展という企画を受け実施予定で、実行委員会を立ち上げ、島内いくつかの場所で障がい者芸術の展示を行いますとともに啓発講演会をあつたかフォーラム 2019 と合同開催する予定で協議しています。展示会場は、9月3日から11月30日まで、佐渡版画村、9月15日から21日まで、あいぼーと佐渡催事スペース、10月中に榮法寺で調整しており、各商店街などでも随時可能なところから展示を実施する予定です。」

・佐渡福社会理事長 弾正氏

「障がい者の芸術振興は、今回の障害者芸術文化祭で終わらせずに継続的に実施して、障害者と健常者のつながりをもっと深めていくよう要望します。また来年のパラリンピックも障害者理解を広げる良い機会ですので、頑張ってもらいたい。」

・佐渡福社会理事長 弾正氏

「前の議題内容ですが、自立支援や地域生活移行という考え方が後ずさりしているように感じるのだが、5期計画は順調に進んでいるとみているか。」

・事務局 堀係長

「現状では、施設から地域生活への移行は難しいことは認識しており、施設入所しながら地域と共生していくあり方を次期計画にどう反映していくか、県計画との整合を図りつつ進めてまいりたいと考えています。また、就労移行についても、一般就労よりも就労継続B型のニーズが高くなっている現状を踏まえた計画の反映も検討してまいります。」

・佐渡総合病院副院長 岡崎氏

「先ほども質問したが、自立支援のための就労は大きな課題だと考えます。就労は、障害者の治療的な意味でも社会性の獲得の意味でも大切で、生産性の向上という側面もあります。昨今、社会情勢の変化が激しく、子供や障害者を取り巻く環境も同様です。真野にある通信制高校ヒューマンキャンパスには、60人もの生徒が在籍しており、今後そちらの卒業生と就労支援対象の障害者の競合も発生する可能性もあり、今後部会で情報共有できるとよいのではないかと考えます。また、我々支援者は、障がいのある子らが30歳くらいを目途にGHなどで自立した生活をしていけるようになることを目標にしており、社会変化にも適応しながら支援していくように支援者自身も変わっていかねばならないと考えます。」

・事務局 堀係長

「貴重なご意見ありがとうございました。今のご意見を就労支援部会を中心に検討し、今後の計画に反映していきたいと思っております。」

・佐渡地域精神障害者家族連合会会長 座長 山本氏

「問題は尽きないと思います。社会的な事件などもあり家族としても心を痛めて過ごしているところではございますが、頼らなければならないことも多々ありますので応援いただき、今後も新たな発展が見られればうれしく思います。令和元年度は第5期障がい福祉計画、第1期障がい児福祉計画の2年目となります。障がい者計画の基本理念にもあるとおり「障がい者の健やかな生活と自立を、思いやりで支える安全安心な島（まち）づくり」を実現するため、各専門部会において本年度の作業内容について協議を深めていただきたいと思います。」

「次回の地域自立支援協議会においてその進捗状況をご報告くださるようお願いいたします。」

3. その他

	<ul style="list-style-type: none"> ・佐渡福祉会理事長 弾正氏 「この会議は一般の方の注目もあるもので、参加者もしっかり勉強して臨まなければならないと考えているが、今回は資料の事前送付がなく、準備ができなかった。当法人は、事前に法人内で意見集約も行うので、今後は事前に資料提供いただき勉強してから会議に臨めるように配慮願いたい。」 ・佐渡地域精神障害者家族連合会会長 座長 山本氏 「私も自身が関わっている部会以外の動きは見ていないので事前の資料送付は大切だと考えますので、事務局は今後の対応をお願いします。また、障害者が社会に出て就労し、給料を得る喜びを実感することは大切で、今年の参議院議員選挙において障害のある方が当選したことで国会も変化することになったことをみても、時代が変化してきており、私たちも多くの皆さんの視点を取り入れ、知恵を出し合いながら進んでいかなければならないと思います。」 ・事務局 後藤 「資料の事前送付ができなかったことについてお詫び申し上げます。今後は資料の事前送付をし、参加者の皆様から活発なご意見をいただけるようにしてまいりますので、よろしく願いいたします。」 事務局より、資料No.4について説明及び「あったかフォーラム 2019」を11月4日にアミューズメント佐渡で行うことと、内容について総合企画部会で検討する旨を説明。 他、意見無し。 <座長よりあいさつ> <座長終了> [事務局進行] 4. 閉会
備 考	